

京丹後市老人クラブ連合会だより

# あじさい

第30号

2024.8発行



## ちょっと特別な列車に乗りました

網野支部の会員17名が令和6年7月23日(火)、丹後鉄道沿線を所轄する4警察署(舞鶴、宮津、京丹後、豊岡)が実施する合同交通啓発活動に参加し、期間限定のヘッドマークが取り付けられた丹後鉄道の特別列車にのって豊岡駅まで行ってきました。

夏の交通安全防止活動の一環で、京都府警のマスコットキャラクターも網野駅から乗り込んで、乗客らに交通安全を呼びかけていました。

### 主な内容

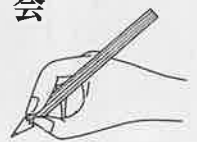
ごあいさつ	2
令和6年度評議員会	3
令和6年度京丹後市老人クラブ連合会 役員名簿	4
令和5年度 事業報告	6
令和6年度 事業計画	9
投稿コーナー	11
活動報告	12

# ごあいさつ



京丹後市老人クラブ連合会

会長 吉岡 光義



この度、(前) 森口会長の後をお受けすることとなりました。久美浜の吉岡です。よろしくお願ひします。

さて皆さん、徐福のことをご存じですか。隣村の徐さんではありません。親戚の福さんのことでもありません。中国の秦の始皇帝の命により、不老不死(長寿)の霊薬を求めて、わが国へ船出した徐福のことです。そして、丹後半島の新井崎にたどり着いたと言われています。徐福と一緒に渡ってきたのは、童男童女三千人、五穀の種子、様々な職人も同行したと言われています。

そして、多分、丹後半島をくまなく巡り、始皇帝の求めた霊薬「仙丹」を探し回ったものと思われまます。この地で、医・薬・天文・占い・漁労・農耕の先端技術を教えました。秦に帰ることなく丹後の地で亡くなり、新井崎神社に祀られたと言われています。(ふるさと検定テキストブック『丹後新風土記』より)

中国の西安に旅行に行くと、必ず兵馬俑の見学に訪れますが、そこが、この始皇帝のお墓なんです。徐福を日本に遣わした秦の始皇帝。驚くなかれ、何と、たった49歳で亡くなっ

ているのです。

今、わが国の平均寿命は80数歳であります。という事は、始皇帝が手にすることのできなかつた願い、長寿を手を得たということになります。

先般、京都で「令和6年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会」が開催され、野村副会長とともに参加してきました。大谷大学名誉教授の山下憲昭先生の講演がありました。その講演の中で、いみじくも話されました。高齢者の役目として、アインシュタインの「誰かのために生きてこそ価値ある人生」との言葉を。二つには「老年期は利他に生きる」こと。そして、「人間の最後の使命は年老いて弱って死んでゆく姿を、子や孫に見せることを通して、命の大切さを伝えること」だと紹介されました。

今日、人生100年の時代を迎えたと言われています。始皇帝は富と権力と美女をすべて手に入れました。そして、最後に不老不死(長寿)を願いました。彼が願っても叶わなかった願いを、今日の私たちは手に入れているのです。始皇帝は、長寿を手に入れて何をしようとしたのでしょうか。そんな私たちは何をすべきでありましょうか。何をしなければならぬのでしょうか。今日の私たちに課せられた命題の一つであります。

日々楽しく、こころ穏やかに暮らしながら、一日一日を大切に、酷暑の夏を無事に乗り越えましょう。



# 令和6年度評議員会開催



令和6年度評議員会を令和6年5月28日（火）、峰山織物センターにおいて開催いたしました。吉岡光義新会長が開会のあいさつを行い、市老連の現状や課題に

新会長に  
吉岡光義さん

谷 良夫さん（丹後支部）



市老連会長表彰

ついて報告し、老人クラブ発展のために会員皆さんの協力が必要と訴えられました。

この後、丹後支部の森口茂樹評議員が議長となり議事を進行。令和5年度事業報告（案）及び収支決算（案）、令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）他、人事案件として監事の選任議案を審議し、全て原案どおり可決されました。

また会議の冒頭、丹後支部の谷良夫さんを老人クラブ活動の功労者として、市老連会長表彰をお贈りいたしました。

## 新役員のみなさんです。よろしくお願ひします

（任期2年）

左から難波 澄雄（丹後副支部長）

野村 正彦（網野支部長）

小森 明美（女性委員長）

野波雄二郎（丹後支部長）

吉岡 光義会長

梅田昭二郎（弥栄副支部長）

吉岡 崇（網野副支部長）

安達 徳一（久美浜副支部長）

敬称略

※小谷実弥栄支部長は欠席



# 役員名簿

(敬称略)

## 理事

## 評議員

役員人数11名

評議員数15名

会長(理事)	吉岡 光義	久美浜支部長
副会長(理事)	野村 正彦	網野支部長
副会長(理事)	野波雄二郎	丹後支部長
副会長(理事)	小谷 実	弥栄支部長
副会長(理事)	小森 明美	女性委員長
理事	安達 徳一	久美浜副支部長
理事	吉岡 崇	網野副支部長
理事	難波 澄雄	丹後副支部長
理事	梅田昭二郎	弥栄副支部長
理事	梅田 豊則	網野支部
監事	今田 博	久美浜支部

## 女性委員会

役員人数8名

網野支部 委員長	山崎喜代枝
副委員長	谷口 早苗
丹後支部 委員長	中江 純子
副委員長	吉岡 幸子
弥栄支部 委員長	紀平 孝枝
副委員長	梅田 洋子
久美浜支部 委員長	小森 明美
副委員長	真宮恵美子

## 事務局

## 若手委員

鈴木 斉志	松 寿	会 網野支部
梅田 豊則	福 寿	会
藤原 新典	元町 浦島	会
芦田 幸夫	下岡 第一	会
前田 和夫	浜 詰松	会
谷 良夫	古間 西老人	会 丹後支部
森口 茂樹	古間 東老人	会
金羽 廣明	成願寺 老人	会
溝尻 武	い つ き	会
川戸 文江	やさかシニア	会 弥栄支部
今田 博	新町区 新生	会 久美浜支部
田中 和雄	畑 老人	会
小幡 重雄	野中 老人	会
小國 芳直	女布 老人	会
角田 正明	壱分	会

野波雄二郎 丹後支部

事務局長 山崎 淳之

### 令和6年度単位老人クラブ数と会員数

(各年度4月1日現在) (単位:人)

支部名	クラブ数		会員数		令和6年度会員内訳	
	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	男性	女性
大 宮	4	解散	108	0	0	0
網 野	22	21	410	360	113	247
丹 後	13	13	378	339	163	176
弥 栄	1	1	25	33	15	18
久 美 浜	32	30	498	479	206	273
計	72	65	1,419	1,211	497	714
前 年 比		△7		△208	△73	△135



# 単位老人クラブ会長

## 網野支部

吉寿会(住吉)	野村 壽成
陵寿会(御陵)	山崎 慶子
幸寿会(上小路)	吉岡 崇
松寿会(桃山)	鈴木 斉志
長寿会(長田)	安井 英二
福寿会(福田)	梅田 豊則
第一天寿会(下岡)	芦田 幸夫
第二天寿会(下岡)	吉岡 隆幸
第一砂丘会(北大路)	野村 正彦
第二砂丘会(北大路)	川浪 将義
第三砂丘会(北大路)	新谷 知央
港浦島会	永島 重春
元町浦島会	藤原 新典
旭浦島会	井本 勝己
東大路浦島会	足立 享之
大昭西浦島会	尾崎 信夫
大昭東浦島会	浜岡美代子
栄浦島会	齋藤 佳子
湖秀会(小浜)	川上 敏
琴和会(掛津)	宇野 貞夫
浜詰松寿会	前田 和夫

## 丹後支部

古間東老人クラブ	野波雄二郎
古間西老人クラブ	三山 潤子
谷区老人クラブ	蒲田 俊治
後ヶ浜老人クラブ	中江 純子
向地老人クラブ	泉 利幸
小泊老人クラブ	池田 栄
成願寺老人クラブ	金羽 廣明
徳光長寿クラブ	岡崎 恭仁
大山老人クラブ	田宮 孝市
是安オールドメンバー	難波 澄雄
たかのえびす会	尾瀬 崇
いつき会	溝尻 武
願興寺老人クラブ	野木 啓一

## 弥栄支部

やさかシニアクラブ 小谷 実

## 久美浜支部

仲町老人会 小林 憲彦

土居老人会	大場 耕作
向町松江会	古嶋 義春
新町新生会	今田 博
神谷老人会	谷口 和之
口馬地緑寿会	安達 徳一
法沢クラブ	長尾 国顕
畑老人クラブ	田中 和雄
金谷老人クラブ	川原 哲子
出角老人会	安達 勇一
須田永寿会	戸出重兵衛
新庄老人クラブ	西垣 喜好
橋爪区もみじ会	安達 保男
品田老人会	小堀 賢
芦原老人会	西田 嘉一
安養寺老人クラブ	岡田 昂
野中老人クラブ	小幡 重雄
円寿会	野村 恒雄
長坂老人クラブ	能勢 茂
女布老人クラブ	小國 芳直
丸山老人クラブ	田中 文江
佐野シニアクラブ	浮網 進
老分老人クラブ	角田 正明
田村老人クラブ	野田 克己
神崎老人クラブ	福井 芳子
浦明松寿会	森口 明穂
長柄老人会	和田 純子
鹿野老人クラブ	井舎 貢
甲山シニア	西津栄一郎
湊宮老人クラブ	吉岡 光義

令和6年度単位老人クラブの年齢別・男女別の構成

(単位:人)

		60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	合計
網野	男	1	5	19	24	33	19	12	113
	女	2	10	17	59	72	49	38	247
丹後	男	1	24	40	40	38	15	5	163
	女	2	9	24	50	39	31	21	176
弥栄	男	0	0	2	8	4	1	0	15
	女	0	0	0	5	11	2	0	18
久美浜	男	4	9	36	47	44	48	18	206
	女	4	7	32	55	75	48	52	273
合計	男	6	38	97	119	119	83	35	497
	女	8	26	73	169	197	130	111	714
		14	64	170	288	316	213	146	1,211

**(5) 市老連リーダー研修会**

令和5年11月9日(木)、市老連の役員さんを対象に、亀岡市のNPO法人「チョロギ村」でフレイル研修会を実施しました。この日、同法人の事務局長から東洋医学からみたフレイル予防の話聞いた後、薬膳料理をいただき、健康づくりと予防の意識を高めました。

**その他の活動****近畿ブロック関係****近畿ブロック老人クラブリーダー研修会**

〈日時〉令和5年6月29日(木) 〈場所〉兵庫県民会館(神戸市) 〈参加〉1名(森口茂樹会長)

〈内容〉○基調報告:「老人クラブの現状と課題」

(講師) 全国老人クラブ連合会常務理事 笹尾 勝氏

○講演:「人とかかわる、人と出会う～老人クラブのこれまで・これから～」

(講師) 人材養成コーディネーター 浅見 真一氏

○分科会:①友愛活動などの顕著な活動事例

②会員増強・加入促進などの顕著な事例

③地域団体等の交流で顕著な成果を挙げている事例

④高齢者が取り残されないためのデジタル社会への適応事例

○いきいきクラブ体操

**府老連関係****(1) 市町村老連リーダー研修会**

〈日時〉令和5年7月20日(木) 〈場所〉ハートピア京都 〈参加〉6人

〈内容〉○講演会:「老人クラブが元気になる7つのポイント～大阪府内の活動事例に学ぶ～」

(講師) まっすぐプランニング代表 合田 享史氏

○事例発表:「地域団体との連携で組織を活性化」

(発表者) やすらぎクラブ長岡京会長 中田 正紀氏

**(2) 丹後ブロック女性リーダー研修会**

〈日時〉令和5年9月14日(水) 〈場所〉兵庫県三田市「しいたけランドかさや」

〈内容〉椎茸狩りとバーベキュー

**(3) 第13回丹後ブロックグラウンド・ゴルフ交流大会**

〈日時〉令和5年9月21日(木) 〈場所〉東舞鶴公園陸上競技場 〈参加〉6チーム(36人)

**(4) 第44回京都府老人クラブ大会**

〈日時〉令和5年10月11日(水) 〈場所〉京都府民総合交流プラザ(京都テルサ) 〈参加〉6人

〈内容〉第1部 表彰式:府知事表彰(育成功労者表彰) 吉岡 崇氏(網野支部)

第2部 講演:「人生100年時代 笑いの効能で長生きしましょう」

(講師) 雲迎寺住職・落語家 九志 則行氏

**(5) 令和5年度若手リーダー研修会「公式ワナゲ京都府大会」**

〈日時〉令和5年11月21日(火) 〈場所〉八幡市民体育館 〈参加〉30人(5チーム)

**市老連関係****○赤い羽根共同募金配分事業**

【大宮支部】親睦旅行(R5.6.26)

【網野支部】グラウンド・ゴルフ大会(R5.8.8、R5.10.26)、ワナゲ大会(R5.9.16)

【丹後支部】ワナゲ大会(R5.7.14、R5.9.30)、グラウンド・ゴルフ大会(R5.10.20)

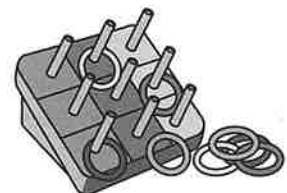
【弥栄支部】未実施

【久美浜支部】グラウンド・ゴルフ大会(R5.9.26)

**○京丹後市老人クラブ連合会長表彰(敬称略)**

老人クラブ活動にご尽力された次の方を表彰いたしました。

森口茂樹(丹後支部)



# 令和5年度活動報告

新型コロナウイルスもインフルエンザ並みの位置づけとなり、市老連・支部の事業も以前のような活動ができるようになりました。

市老連では、健康づくり事業として第10回市長杯グラウンド・ゴルフ大会、第5回目となる公式ワナゲ大会を多くの会員の参加のもと開催することができました。また、令和5年度はフレイル（虚弱）予防の研修会を開催し、健康への意識を高めました。

友愛訪問活動事業は、高齢者施設への慰問が制限されていることから、令和4年度と同様に「健康長寿お守り」を女性委員会の皆さんに作成していただき、丹後町と網野町の施設にお届けしました。世代間交流事業は、京都府立清新高等学校の生徒さんと、寄せ植え教室を通じて交流を図りました。

各支部でも、グラウンド・ゴルフ大会やワナゲ大会のほか、ペタンク、ゲートボールなどのスポーツの他、体力測定や日帰り旅行も実施し、健康づくり・生きがいづくり事業に取り組みました。

また、単老クラブでは、奉仕活動として、神社や公民館などの清掃や子ども達の登下校時の見守りなど、地域に密着した活動が実施されています。

機関紙「あじさい」は、会員皆さまからの投稿記事もいただき、年2回発行することができました。単老クラブの紹介や活動報告を掲載することが、会員拡大に繋がるものと考えますので、多数の原稿、記事の投稿を頂きたいと思えます。

府老連主催の第13回丹後ブロックグラウンド・ゴルフ交流大会や、女性リーダー研修会、公式ワナゲ京都府大会にも参加し、府内の仲間たちとの交流も図りました。

この他、府老連老人クラブ大会や市町村リーダー研修会、近畿ブロックリーダー研修会に参加し、老人クラブの現状や課題を勉強しました。

## 主な事業

### (1) 健康づくり事業

市老連主催の事業は市長杯グラウンド・ゴルフ大会と公式ワナゲ大会ですが、各支部においても会員さんの健康づくり事業に取り組んでいただきました。以下は事業の内容。

#### 【市老連】第10回京丹後市長杯グラウンド・ゴルフ大会

〈日時〉令和5年9月12日（火） 〈場所〉大宮自然運動公園

〈参加〉24チーム（131人）

#### 【市老連】第5回公式ワナゲ大会

〈日時〉令和5年12月5日（火） 〈場所〉網野体育センター

〈参加〉36チーム（178人）

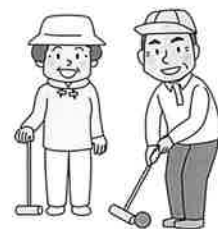
【大宮支部】グラウンド・ゴルフ大会（R5.10.4）、ワナゲ大会（R6.2.19）

【網野支部】健康日帰りウォーク（R5.6.12）

【弥栄支部】健康歩こう会（R6.3.5）

【丹後支部】健康歩こう会（R5.11.16）

【久美浜支部】親睦ゲートボール大会（R5.4.26、R5.9.22）、ゲートボール初心者教室（R5.6.3～7.1）、ゲートボール初打大会（R6.1.11）、カラオケ大会（R5.10.17）、日帰りバス旅行（R5.11.13）



### (2) 啓発・広報広聴事業

機関紙「あじさい」は、会員相互の情報提供を図る重要な媒体です。

市老連、支部、単老クラブの活動や会員からの紀行文などを掲載し、全会員に配布しました。

○第28号：令和5年8月（1,600部） ○第29号：令和6年1月（1,600部）

### (3) 友愛訪問活動事業

女性委員会が健康長寿お守りを200個作成し、丹後町及び網野町の施設にお届けしました。

〈丹後町〉いちがお園・岩木の里・宇川いちがを園（R5.11.7（火））

〈網野町〉丹後園（R6.1.9（火））

### (4) 世代間交流事業

女性委員会役員ら21名が高校の生徒10人と、寄せ植え教室を通じて交流を図りました。

〈日時〉令和5年12月19日（火）

〈交流先〉京都府立清新高等学校

令和5年度京丹後市老人クラブ連合会収支決算書

令和5年4月1日(自)～令和6年3月31日(至)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	収入済額 (B)	差引増減額 (B)-(A)	摘 要
1.繰越金	923,178	923,178	0	前年度繰越金
2.会費	364,320	364,320	0	5,060円×72単老=
3.市補助金	6,071,488	5,932,443	△ 139,045	
市老連活動促進事業	296,168	296,168	0	194,000円+(72円×1,419人)=
単老活動事業	3,352,320	3,295,815	△ 56,505	46,560円×69単老+83,175円(3単老)
特別事業				
友愛訪問活動事業	60,000	53,125	△ 6,875	お守りづくりと施設訪問
世代間交流事業	60,000	40,400	△ 19,600	府立清新高校生との交流
健康づくり事業	520,000	520,000	0	グラウンド・ゴルフ等
啓発・広報広聴事業	450,000	402,465	△ 47,535	広報紙の発行
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金
市老連運営事業	133,000	124,470	△ 8,530	バス使用料
4.市社協共同募金配分助成事業	220,000	200,000	△ 20,000	赤い羽根共同募金配分助成
5.府老連負担金収入	396,000	396,000	0	5,500円×72単老=
6.雑収入	1,014	81,877	80,863	預金利息,借上バス助成金、 ソーマン幹旋還元金等
合 計	7,976,000	7,897,818	△ 78,182	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	支出済額 (B)	差引増減額 (A)-(B)	摘 要
1.事務局費	1,552,000	1,522,933	29,067	
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金(1人分)
備品購入費	20,000	15,000	5,000	ストーブ
消耗品費	30,000	33,578	△ 3,578	用紙、ファイル等事務用品
通信運搬費	60,000	67,993	△ 7,993	電話、郵便料他
印刷製本費	60,000	46,326	13,674	コピー代等
委託料	50,000	45,100	4,900	印刷機保守料
手数料	2,000	2,255	△ 255	負担金等振込料他
使用料	80,000	72,660	7,340	市老連事務所使用料他
光熱水費	15,000	10,781	4,219	事務所灯油代等
修繕費	10,000	0	10,000	
旅費	25,000	29,240	△ 4,240	事務局長会議等
2.会議費	125,500	86,578	38,922	
理事会	12,000	9,208	2,792	費用弁償
評議員会	30,000	25,528	4,472	費用弁償等
各種委員会	80,000	48,522	31,478	費用弁償等
会計監査費	3,500	3,320	180	費用弁償
3.活動費	600,000	612,950	△ 12,950	
バス借上料等	400,000	373,410	26,590	府老連研修会・丹プロ事業参加等
活動費	150,000	198,440	△ 48,440	各種研修会費用弁償等
研修会等負担金	50,000	41,100	8,900	近畿ブロック事業等
4.特別事業費	1,230,000	1,147,272	82,728	
友愛訪問活動事業	70,000	53,125	16,875	お守りづくり材料費
世代間交流事業	70,000	40,400	29,600	府立清新高校交流資料、車借上げ代
健康づくり事業	530,000	535,182	△ 5,182	市老連グラウンド・ゴルフ大会等、 支部事業
啓発・広報広聴事業	460,000	402,465	57,535	広報紙2回発行
市老連リーダー研修会	100,000	116,100	△ 16,100	フレイル予防研修
5.社協助成金事業	220,000	200,000	20,000	4支部配分
6.府老連負担金	396,000	396,000	0	5,500円×72単老=
7.単老活動補助金	3,352,320	3,295,815	56,505	46,560円×69単老+83,175円(3単老)
8.予備費	500,180	0	500,180	
合 計	7,976,000	7,261,548	714,452	

収入支出残額 636,270円を次年度に繰り越す。



# 令和6年度事業計画

今年度は市老連役員の改選年にあたります。

各支部から選出された理事の中から互選により、久美浜支部長の吉岡光義さんが会長に就任され、新体制で令和6年度がスタートしました。

老人クラブの全国三大運動である「健康・友愛・奉仕」の活動を基本に、これまで同様に「健康づくり・仲間づくり・地域づくり」の活動を進めていきます。

健康づくり事業として、引き続きグラウンド・ゴルフ大会や公式ワナゲ大会を開催します。また、各支部においても、地域の特性を生かしたスポーツのほか、日帰り旅行などの生きがい活動も積極的に進めていくこととしています。

高齢者への友愛訪問活動、年代を超えた世代間交流事業も、これまでどおり実施し、京都府老人クラブ大会や各種研修会などにも参加していきます。

また、令和6年度京都府老連の女性リーダー研修会（丹後ブロック）の会場が京丹後市となっており、参加される皆さんが楽しく、有意義なものとなるような研修会にしていきたいと考えています。

最後に、老人クラブの大きな課題は会員の減少です。時代の変化や取り巻く環境により老人クラブの解散、退会が続いています。市老連でも、残念ながら大宮支部が平成5年度末をもって解散いたしました。新しいクラブの立ち上げ、再開には自治会の支援や協力が不可欠であります。会員増強は、皆さんの地道な声かけが一番です。身近に未加入の方がおられましたら積極的に声かけをし、勧誘してください。

## 主な事業

### (1) 健康づくり事業

- 市老連「第11回京丹後市長杯グラウンド・ゴルフ大会」

〈日時〉令和6年10月1日（火）・予備日10月4日（金） 午後13時～ 〈場所〉八丁浜シーサイドパーク（網野町）

- 市老連「第6回公式ワナゲ大会」

〈日時〉令和6年12月5日（木） 午後13時30分～ 〈場所〉網野体育センター

### (2) 啓発・広報広聴事業

機関紙「あじさい」を発行し、クラブの活動状況を掲載することで情報の共有化を図ります。

### (3) 友愛訪問活動事業

友愛訪問活動事業を進め、助け合い・支え合いの輪を広げていきます。

### (4) 世代間交流事業

未来の担うこども達との触れ合いの中で見守り、交流します。

### (5) 市老連リーダー研修会

ニュースポーツの講習会を開催します。

## 京都府老連の主な会議・事業等

- 府老連女性・若手委員会総会（R6.4.25）京都市
- 近畿ブロックリーダー研修会（R6.6.27）京都市
- 市町村老連リーダー研修会（R6.6.27）京都市
- 第45回京都府老人クラブ大会（R6.10.9）京都市
- 若手委員会リーダー研修会（R6.11.6）京都市

## 丹後ブロック市町老連主催「第14回グラウンド・ゴルフ交流大会」

〈日時〉令和6年9月24日（火） 午後13時～ 〈場所〉滝グラウンド（与謝野町） 〈参加数〉未定

## 丹後ブロック女性リーダー研修会

〈日時〉令和6年9月13日（金） 午前10時～午後3時 〈場所〉アグリセンター大宮

〈内容〉講演会、活動報告、交流、施設見学 〈参加数〉約100名

## 令和6年度京丹後市老人クラブ連合会収支予算書

令和6年4月1日(自)～令和7年3月31日(至)

## 【収入の部】

(単位:円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減額(A)-(B)	摘 要
1. 繰越金	636,270	923,178	△ 286,908	前年度繰越金
2. 会 費	328,900	364,320	△ 35,420	5,060円×65単老=
3. 市補助金	5,698,592	6,071,488	△ 372,896	
市老連活動促進事業	281,192	296,168	△ 14,976	194,000円+(72円×1,211人)=
単老活動事業	3,026,400	3,352,320	△ 325,920	46,560円×65単老=
特別事業				
友愛訪問活動事業	60,000	60,000	0	施設入居者への慰問
世代間交流事業	60,000	60,000	0	児童、生徒との交流
健康づくり事業	520,000	520,000	0	グラウンド・ゴルフ等
啓発・広報広聴事業	420,000	450,000	△ 30,000	広報紙の発行
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務局員賃金
市老連運営事業	131,000	133,000	△ 2,000	鉄道、バス使用料
4. 市社協共同募金配分助成事業	175,000	220,000	△ 45,000	赤い羽根共同募金配分助成
5. 府老連負担金収入	357,500	396,000	△ 38,500	5,500円×65単老=
6. 雑収入	738	1,014	△ 276	預金利息等
合 計	7,197,000	7,976,000	△ 779,000	

## 【支出の部】

(単位:円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減額(A)-(B)	摘 要
1. 事務局費	1,538,000	1,552,000	△ 14,000	
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金
備品購入費	20,000	20,000	0	
消耗品費	30,000	30,000	0	事務用品、用紙他
通信運搬費	70,000	60,000	10,000	郵券料、電話料、他
印刷製本費	50,000	60,000	△ 10,000	コピー代等
委託料	0	50,000	△ 50,000	印刷機保守料
手数料	3,000	2,000	1,000	振込料他
使用料	80,000	80,000	0	老連事務所使用料他
光熱水費	15,000	15,000	0	事務所灯油代
修繕費	20,000	10,000	10,000	事務機器類他
旅 費	50,000	25,000	25,000	事務局員等旅費
2. 会議費	125,500	125,500	0	
理事会	12,000	12,000	0	費用弁償等
評議員会	30,000	30,000	0	費用弁償等
各種委員会	80,000	80,000	0	費用弁償等
会計監査費	3,500	3,500	0	費用弁償等
3. 活動費	645,000	600,000	45,000	
バス借上げ料等	395,000	400,000	△ 5,000	丹プロGG大会、女性リーダー研等
活動費	200,000	150,000	50,000	各種研修会費用弁償等
研修会等負担金	50,000	50,000	0	近畿及び丹後ブロック事業等
4. 特別事業費	1,110,000	1,230,000	△ 120,000	
友愛訪問活動事業	70,000	70,000	0	
世代間交流事業	70,000	70,000	0	
健康づくり事業	530,000	530,000	0	市老連グラウンド・ゴルフ大会他
啓発・広報広聴事業	430,000	460,000	△ 30,000	広報紙2回発行
市老連リーダー研修会	10,000	100,000	△ 90,000	ニュースポーツ研修
5. 能登半島地震災害救援拠金	50,000	0	50,000	
6. 社協助成金事業	175,000	220,000	△ 45,000	4支部配分
7. 府老連負担金	357,500	396,000	△ 38,500	5,500円×65単老=
8. 単老活動補助金	3,026,400	3,352,320	△ 325,920	46,560円×65単老=
9. 予備費	169,600	500,180	△ 330,580	
合 計	7,197,000	7,976,000	△ 779,000	

# 投稿コーナー



## 「あじさい」に寄せて

網野支部 長寿会 吉岡敏枝

発行を毎回楽しみにしに心待ちしております。入会させていただいて配布一冊目が2021年6月発行の第24号誌です。そして、2024年1月発行の29号誌で6冊目になりました。

編集委員長様をはじめ編集員様方のご苦労と投稿された方々のご協力により出来上がった機関紙「あじさい」を成程なるほどと感動しながら、時にはフフフと笑いながら温かい気持ちになって拝読いたしております。

役員様の名簿の中には、幼馴染みの懐かしい名前が沢山のせられていて、昭和一桁生まれの私には若い頃が懐かしく蘇って参ります。

時には、単位クラブの紹介やらあるので興味深く目を通しております。特に、

〔第24号誌〕「老人クラブ復活」

…久美浜支部法沢クラブ 長尾国顕様 記  
〔第25号誌〕「法沢クラブの会員増強運動特別

## 賞受賞

法沢クラブ設立時は会員数34名。その一年後に1名。更に3年後には6名増えて41名になったそうです。受賞おめでとうございます。

〔第26号誌〕「法沢クラブ設立後の歩み」

…久美浜支部法沢クラブ 長尾国顕様 記

〔第27号誌〕「法沢クラブ設立後の歩みを讀ませていただいて（投稿コーナー）」

…網野支部琴和会 宮本肇童様 記

以上、長々と書きましたが法沢クラブに関する話題のご投稿を目にしました時、私自身は法沢山に登った事はありません。でも私は法沢山の麓の布袋野で24年余りの月日を何不自由なく皆さまに可愛がられながら過ごさせていただきました。

法沢クラブを立ち上げていただいたことを私は感謝し心から「誇り」に思っています。

法沢、法沢と言う言葉を何回書きましたことでしょうか。老人会と何の繋がりあるのかと、しつこい、もう飽きたと思いの方もおありかと思いますが、第26号誌で法沢クラブ会長の長尾様のご投稿の中で、法沢クラブと言う名前が出来た由来を綴っておられますが、老人会と言う名称では抵抗のある人もいるのだからと考へ、地元にある市内で4番目（標高644メートル）の法沢山にちなんで生まれるたこの事です。

これから先、どのクラブでも会員様が1人でも増加する事をお祈りいたしております。

何もお役に立たない私ですが、老人クラブの一員としまして活動の一助にでもなればと日常用語小辞典を片手に、つたない文章と文字で投稿させていただきました。

機関紙「あじさい」をご愛読の皆様へ

## 追伸

法沢山への登山道が徐々に整備されていて、法沢クラブ会員様達がリーダーになり、町内外の下は10歳代から上は80歳代のおじいちゃんまで、元気に登山して親睦の輪を広げていると聞いております。うらやましい限りです。

薰風や 流れる雲よ 故郷恋し

五月晴 登頂パノラマ 法沢山

天高く 今はひ孫に 背を越され

とし江

## 和歌

匿名

群れなして 岩場につどう 水鳥を

ながめし 暮れゆく 春の日や

久美の浜 水面に浮かぶ 水鳥よ

介護の疲れ のせて飛べ！

立春や 波のりこえし 海鳥に

老々介護と 癒されて



## 活動報告

令和6年度は、2年に一度の役員改選期に当たり、各支部においても役員選出にご苦労なされたとお聞きしています。

単位老人クラブの会長はこれまでから比較的容易に選出していただいておりますが、網野支部に

おいても例外なく、特に支部長の選出には会員の高齢化に加え、勇気ある立候補者も現れず苦勞しています。

そこで、旧役員を含めた選考委員会を立ち上げ、いろいろの提案をいただく中で、何とか新役員候補者を選出し、ご本人のご了解を経て、ようやく

新役員体制が整いました。

今さら申し上げることもありませんが、今後の課題として、常に先を見据えた候補者の養成が求められることを、ひしひしと思ひ知らされる年度替わりとなりました。

このような新年度のスタートでしたが、令和6年5月29日(水)には、さつそく第一回目の健康活動事業として、淡路島国営明石海峡公園ウォークを実施しました。

初夏の心地よい天候の中、見事に咲き誇る約一万株にもおよぶコデリアの花を満喫しながらのウォークを楽しみました。50名余りの方が参加し、楽しい健康ウォークとなりました。



淡路島国営明石海峡公園にて

網野支部  
だより



## 能登半島地震災害に10万円を寄付

本市老連では、令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地方を震源とする地震災害に対して10万円を寄付いたしました。

寄附金は、会員の皆さまから寄せられたものと、市老連の救援拠金を合わせたもので、京都府老連を通じて被災地に送られることになっていきます。

ご協力ありがとうございました。



## 編集後記

機関紙「あじさい」は平成22年1月に第1号が発刊され、今回で第30号を迎えました。

地域クラブの活動報告や会員の皆さまからの投稿記事、また俳句・短歌・川柳コーナーなどを設け、親しみのある紙面づくりに努めておりますが、近年、皆さまからの記事の提供が少なくなっており苦勞しています。

機関紙「あじさい」は、会員の皆さま同士、また市老連とを繋ぐ唯一の情報媒体です。年2回発行しています。何でも結構です。皆さまからの記事、原稿をまつています。

さて、令和6年度がスタートしましたが、大宮支部が解散したことにより、市老連は4支部での構成となりました。峰山支部に続いての解散であり、市老連活動に大きな衝撃となりました。

会員数の減少、役員の成り手不足、高齢化など、老人クラブが抱える課題や問題は多くあり、その対策と行動が今、全国的に求められています。

これらの状況を踏まえ、今後、老人クラブの在り方も含め話し合い、協議、研究を重ねていくことが必要であり、新会長さんには、市老連の舵取りとともに、手腕を発揮していただきたいと思います。(市老連事務局 記)

編集委員長 吉岡光義  
編集委員 小谷 実・吉岡 崇・難波澄雄・小森明美

**随時、原稿を募集しています。**

「あじさい」では、会員皆様からのお声をお届けする投稿コーナーを設けています。俳句や短歌、写真、近況報告、身近な出来事・感じた事など何でも結構です。原稿は各支部長か市老連事務局へ。

